

近畿学校保健学会通信

No. 30

昭和51年6月1日

第23回近畿学校保健学会事務局

京都市伏見区深草藤森町1 (〒612)

京都教育大学体育学科事務室内

TEL 075-641-9281

振替口座 京都 25547

第23回近畿学校保健学会の開催を祝して

京都府教育委員会教育長

金子欣哉

第23回近畿学校保健学会が京都で開催されるに当たり、お祝辞を申し上げます。

児童・生徒ひとりひとりの命を守り、健康を保持増進させることは、学校教育の基盤であり、今日の重要な教育課題であります。その意味で、学校保健のもつ役割は大変大きいものがあり、その成果を期待されております。

従来学校保健は、教育の場としての学校の中で、教育理論との結びつきが少なかったとの反省があります。学校保健を、現状の社会情勢の変化の中で生きる児童・生徒の健康の問題としてとらえるとき、現場の実践が身近な問題に対する解決にとどまることなく、教育として、学校保健の科学的理論を構築する必要があります。

学校保健の研究組織は、具体的目標をもつ管理が中心となり、そのため、校種・職種など細分化されやすい傾向がみられます。近年、発達と結んだ教育内容の確立をめざして、幼・小・中・高一貫の研究体制がとられ、また、三師会・地域を含む横のひろがりも定着化する傾向にありますが、大学を中心とする研究者と融合する研究組織は少ないのが現状であります。

近畿学校保健学会は、この数少ない教育現場と研究者が交流しあう組織であります。教育現場がめざす学校保健理論の確立の場として、有意義な機会でありますので、活発な討議を期待したいと思います。特に本年は、健康と体力の問題を主題として取り上げられておりますが、体力に関しては、学校現場でも実態調査の分析をとおして、体力づくりを学校目標にあげて実践に取り組みつつあります。しかし、その目標は、方向性をようやく見出した程度であり、すべての子どもを対象にした時、具体的方法論と結びつく実践の確立にはまだ至っておりません。

研究者と実践者が、お互いに平素の疑問を素直に話し合えるせっかくの機会でありますので、十分に協議いただき、児童・生徒が健康や体力を身につけ、未来社会の立派な形成者として育成される学校保健の発展を、切に希望して祝辞といたします。

第23回近畿学校保健学会を開催されるにあたって

京都市教育委員会教育長 城 守 昌 二

近年、科学技術の開発は急速をきわめ、その結果一面では、わたくしたち国民生活に物質的な豊かさをもたらしてきましたが、他面では、その歪みとして自然環境の破壊や公害問題などが起こり、人間生活の基盤を悪化させるとともに、人々の価値観にも影響を及ぼすようになってきました。

このように変貌する現代社会にあって、人間性の回復を求める声は次第に高まり、わたくしたち京都府におきましても「市民の健康と福祉の風土を育てる」ことを目指し努力しているところであります。ことに学校教育では、児童生徒が心身ともに健康で、安全な生活が営めるよう教育環境を整備し、明るく健全な人間形成を培うことが重要な課題であると考えております。

この度の第23回近畿学校保健学会では、積極的に健康と体力の増進問題をとらえ、研究討議されるこのことであり、まことに意義深く、その成果を期待いたすとともに、これを契機として今後さらに学校保健が着実に発展するよう祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

健 康 と 体 力

第23回近畿学校保健学会長 山 岡 誠 一

由来、健康とか衛生というと、健康を損ったものを養護し、あるいは健康を損わないようにとの予防・治療的な面のみを考え、過保護になりやすい。一方、体育ではその目標の一つとして体力の増強を強調する。しかし、「積極的な体力づくりには危険が伴う」といざ実践となると躊躇される。また、体力を肉体の力（チカラ — force）と解し、「省力化された今日、なぜ体力が必要か」と反論される。多くの人がとは健康の必要性を痛感しても体力の必要性は感じていない。

体力の意義については人によっていろいろと述べられている。福田邦三博士は防衛体力（外からの健康障害に抵抗して生命を守り、健康状態に立ちなおらせる能力）と行動体力（外に向って行動にあらわす身体的能力）に分け、前者を保健学的体力、後者を体育学的体力と説明し、猪飼道夫博士はこれを身体の生存能と作業能に分けている。体力は単なる肉体のチカラでなく、どのような環境にも適応し、かつ作業することのできる能力（リョク — capacity）である。これに対して健康とはWHOの憲章にもみられるように、「病気から解放され、もっている能力を十分に活用して身体的、精神的、社会的に人間活動を円滑に行える状態」を指している。健康は生活を背景とした質的なとらえ方、体力は活動を背景とした量的な考え方であって、両者は表裏一体である。体力づくりは即健康づくりに繋がっている。

保健と体育は極めて密接な関係にありながら、とかく保健では弱い子供に照準を置いて過保護に走り、体育では強い子供を基準にして鍛えるために弊害の生ずる恐れがある。心身の弱い子供には弱いなりに、強い子供はさらに強く、たくましく育てたい。それには小児医学や体力科学的な知見を導入し、個々の子供の健康、体力の現状を把握して、それぞれの能力に応じた積極的な健康、体力づくりの処方が必要である。

このような観点から、今回の学会の主題を「健康と体力」に置き、特別講演として子供の健康や体力について造詣の深い船川幡夫教授の御高見を拝聴することにした。またシンポジウムの提言者には、それぞれの立場で活躍されている方々に依頼した。なお一般講演にもこの方面の研究や実践報告の多いことは心強く感じている。諸先生方の御高見を拝聴して、ひよわな子供をたくましく育てる理念・方法の確立や隘路を開拓するために、保健・体育の関係者が一堂に会して活発な論議の場となることを期待している。

近畿学校保健学会名誉会員（昭和51年5月現在）

伊東祐一 岩田正俊 小沢忠治 片岡慶有 川畑愛義
竹村一 長谷川等 富士貞吉 三浦運一

第23回近畿学校保健学会評議員（昭和51年6月1日現在）

◇滋賀県

植村良雄 白倉一夫 高田 恬 谷口 正 林 正 宮田英子
本原貫一郎 山田 一 山之内徳清

◇大阪府

赤沢フミ 安達義明 安藤 格 飯沼 剛 今井英夫 宇野菊三郎
上延富久治 上林久雄 湖崎 克 後藤英二 合田梅野 進 龍太郎
須藤勝見 竹内和子 辻 一成 寺岡政代 野口陽二 仲井正名
藤岡千秋 細野新一郎 松岡 弘 円山一郎 山本勝朗

◇兵庫県

足立ひで子 和泉正人 稲次 優 今出悦子 大西純二 大西道子
加藤哲夫 兼吉太郎 喜田村正治 近藤文子 佐守信男 立石光代
常松 喬 塚本利之 戸田嘉秋 名倉久子 長本正典 丹羽 正
野瀬善一郎 細原 広 南 哲 森西正男 山下 博 山田光盛
横尾能範 吉村恵江 渡辺一九

◇奈良県

池沢掣 箕 石神美代子 今西昭雄 上田光夫 浦久保 繁 緒方準一
唐沢友江 北 喜八郎 喜多村 勝 佐藤良男 佐味谷峰子 橘 重美
辻本チヨ子 出口庄佑 永井豊太郎 中牟田正幸 馬場春代 平井五兵衛
松田秀徳 松田弘信 森村文治 森本 稔 吉岡 哲 米本三治

◇和歌山県

池田昌己 池端与美子 榎田さよ子 井上修一 井辺八郎 岩田弘敏
岩本安佐子 宇野修司 内畑裕雄 笠松勇次 神前捨治 川口吉雄
川口英雄 川口 宏 川崎武彦 喜島芳一 楠井清胤 黒田健雄
小出陽造 小西計三 近藤巳来男 島 利夫 庄本正男 園山和夫
武田眞太郎 田端好次 中 俊博 西川清定 根岸文子 野田康夫
広沢義治 福島篤二 藤原ツタ子 松岡勇二 松本忠吾 山口右二

◇京都府

井上正昭 有本武二 池田英三 泉沢馨一郎 今村要三 卯庵喜代資
上松 享 梅本哲夫 大石嘉雄 大原純吉 大山良徳 奥 正規
貝川一男 景山幸雄 金井秀子 金山政善 北岡秀雄 北村李軒
木村静雄 桐山和夫 栗栖マサエ 小西経和 小西喜博 小山 一
沢田芳三 瀬戸 進 田村喜弘 高島雅行 高寄 昭 竹下克彦
立川 明 陶山芳彦 永田久紀 中本尊子 中村久子 西田義文
西村卓三 西村良之助 日比野逆郎 橋井盛夫 浜田清 福田 潤
福本絹子 藤井正雄 武藤勇哉 堀井 剛 掛岡義明 松井健三
三宅義信 官田尚之 村高 懐 守田良一 八木 保 安見幸八
山下 正 吉岡文雄 米田幸雄

事務局 日誌

- 昭 51.1.20 第23回近畿学校保健学会開催要項を登載した近畿学校保健会通信No.29の印刷ができあがる。
- 昭 51.1.22 第23回近畿学校保健学会評議員(176名)を委嘱する。
評議員, 固定会員(53名 うち評議員30名)ならびに近畿地区在住の日本学校保健学会会員(148名 うち評議員33名)に学会通信No.29を発送する。
近畿地区各府県ならびに近隣の都市教育委員会に, 管轄関係機関への学会通信の配布を依頼する。
- 昭 51.4.30 学会一般講演演題申込を締切る。
- 昭 51.5.7 第2回京都地区幹事会を京都教育大学にて開催(出席者17名), プログラムの編成を行なう。

★児童生徒の健康と体力の増進をめざす総合誌

健康と体力

文部省体育局 監修

●定価390円(郵送定価427円)

●年間郵送購読料6,301円

(特大号3回、臨時増刊号1回を含む)

学校教育のなかでの健康と体力を高めるための指導は、保健、体育、給食のすべてにわたっています。

本誌は広く体育・スポーツ、学校保健、学校給食に関しての行政、研究論文、実践事例、海外事情などを掲載した新しい時代の健康と体力づくりをめざした保健体育指導の総合専門誌です。

最近の特集テーマ

51/1月号 健康と体力の展望と課題
子どもの健康と学校給食

2月号 教育効果を高める保健体育的行事

3月号 昭和50年度実践研究事例集

4月号 指導計画作成へのアプローチ

5月号 女教師による体育指導のすすめ方
(特大号) 児童・生徒の性意識と性教育

6月号 野外活動

7月号 わが国のスポーツ施設

8月号 児童・生徒の事故防止と対策

9月号 学校生活と体力づくりの推進

新学校保健実務必携

渋谷敬三・能美光房・国崎 弘 著
定価1,500円(〒200)



第一法規

〈〒107〉東京都港区南青山2-1-17
電話(03)404-2251/振替東京5-7739

第23回 近畿学校保健学会プログラム

会長 山岡 誠一 (京都教育大学)
事務局 京都教育大学・体育学科内
京都市伏見区深草藤森町1 (〒612)
TEL 075-641-9281 振替京都 25547

日時 昭和51年6月29日(火) 10.00～17.30

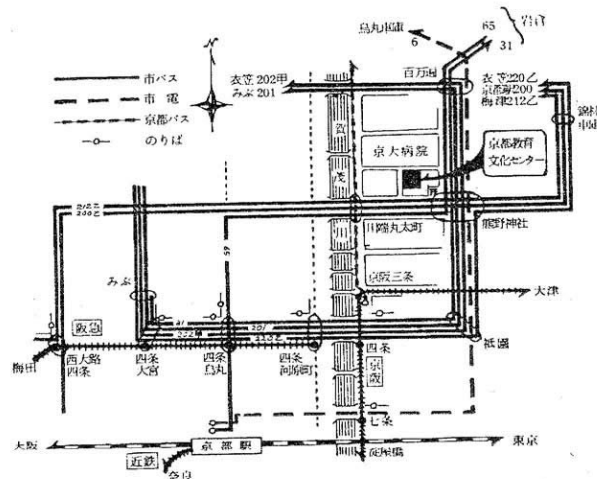
会場 京都教育文化センター (京大病院正門前)
京都市左京区聖護院川原町4-13 TEL 075-771-4221

日 程	10.00	11.00	12.00	13.00	14.00	15.00	16.00	17.00
	受付	一般講演	昼食 評議員会	総会	特別講演	シンポジウム		

会費 会費 1,000円 (一般会員) 1,500円 (評議員)
参加費 200円

会場案内

附近に駐車場がないので
自家用車は御遠慮下さい。



国鉄	京都駅	市電 — 6 (百万遍行)	熊野神社前下車 歩5分
近鉄	四條烏丸	市バス — 65 (熊野・岩倉行, のり場①)	
阪急	西院	市バス — 65 (熊野・岩倉行)	
	四條大宮	市バス — 200乙, 212乙 (熊野・錦林車庫行)	
	河原町	市バス — 31 (東山通・岩倉行)	川端丸太町下車 歩5分
	四條	市バス — 201 (みぶー百万遍ーみぶ)	
		市バス — 202甲 (百万遍・衣笠行)	
		市バス — 220乙 (祇園・銀閣寺行)	
京阪	三条	京都バス (京阪三条南口, のり場①)	徒歩……賀茂川に添って約15分
		八瀬, 大原, 岩倉, 産業大学…行	

一般講演 A会場 10.00～12.10

1. 京都市北区における肥満児出現状況と肥満に影響する因子の調査研究
○ 瀧上裕貴子（京都・高野中） 仲 竹子，米田幸雄（京都教育大）
2. 肥満児の知能構造について
○ 松岡 弘，後藤英二（大阪教育大）
3. 肥満児矯正の手がかりを求めて
○ 笹木弘三（京都・富有小） 多田緝子（京都・崇仁小）
4. 眼の健康とそのとりくみについて
市 本美智子（京都・聚楽小）
5. 屈折異常に関する保健教育とその効果について
○ 山本公弘（奈良女大・保健管理センター）
6. う歯の予防指導について
橋本 忍（神戸・御影小）
7. 本校における心臓検診とその指導基準について
○ 湯浅 実，湯浅高義，寺岡政代，安達美恵子（桃山学院高）
8. 高校における不登校生徒について
三原和子（大阪・守口高）
9. 本校で実施している全校体育について
前田千鶴（西宮・浜脇小）
10. 地域に根ざした健康安全教育の実践
荻野 晋（京都・奥山田小）
11. 情報活動 — 中学校の養護教諭が実施する一つ健康指導
北野由里子（枚方・第三中）
12. 学校保健の組織活動
水野陽子（西宮・甲東小）
13. 健康観の成立
五十嵐裕子（神大附属明石中）

発表される方へ

- ① 一般講演の発表時間は8分，討議2分といたします。シンポジウムは最初12分間講演していただき，一巡後予じめ提出いただいた質疑の応答を含めて約3分の追加講演をお願いします。
- ② 図，表はスライド（35mm判，50×50mm標準マウント）または配布資料でお願いします。これらは講演予定の30分前までに講演会場入口の受付に提出して下さい。プロジェクターは1台用意いたします。

一般講演 B会場 10.00～11.50

14. 防衛体力の環境医学的研究 (第7報)

— Shock時の体内血流動態について —

- 北村幸子 (大阪・中島中) 日比野 朔郎 (京府大) 松岡 周吉 (筑波大)
- 三宅義信 (京女大) 大山良徳 (京都大) 瀬戸 進 (大谷大)
- 早川清孝 (京芸大) 平野登志子 (華頂女短大) 川畑 愛義 (京大・名)
- 細村昭彦, 新谷重二, 沖本昭子, 木村 静雄 (立命大)

15. 摂取脂肪が体脂質に及ぼす運動の影響

- 前川輝昭, 山岡 誠一 (京都教育大)

16. 摂取栄養量に対する学校給食のウェイトに関する分析的研究

- 大山良徳 (京都大) 川畑 愛義 (生活医学研究所) 三宅義信 (京女大)
- 小西博喜 (京工繊短大) 大槻恭作 (仏教大)

17. 性徴の指標としての尿中ハイドロクロリン

- 米山京子 (京府医大・衛生)

18. 月経の随伴症状について

- 山田 一, 宮田英子, 林 正 (滋賀大・教育)

19. 尿の界面エマルジョン法に関する研究

- 白石龍生, 上林久雄 (大阪教大) 恩知 芳子 (大阪・生野養護学校)
- 木村真知子 (大阪・山田小)

20. スポーツが尿検査所見におよぼす影響

- 北村李軒 (京大保健管理センター)

21. 筆圧, 筆速に関する研究

- 南 哲 (神戸大・教育)

22. 両親の健康意識と児童の発育発達に関する研究

- 吉岡文雄 (京女大) 八木 保 (京都大) 小西達郎 (京女大) 小島広政 (京産大)
- 青木安子 (大阪・御幸森小) 内川清三郎, 岩上祐子 (和歌山・栗栖川小)

23. 心身障害児の体格について

— 盲, ろう, 肢体不自由児の実態 —

- 斉藤真一, 長谷川 等, 安田慶二, 秋葉 二男 (大阪学校保健研究会)

24. 学童・生徒の体位についての時代的変遷の図式化

- 横尾能範 (神戸大・教育)

学会に入会を希望される方へ

- ① 近畿学校保健学会は近畿地区6府県の輪番で年1回開催されます。会員として入会されると引続き学会通信や講演抄録集をお送りいたします。
- ② 当日参加できなくて入会を希望される方や、第23回学会の講演抄録集を希望される方は、氏名、所属、連絡先ならびに入会または講演抄録集請求と明記し、会費1,000円を添えて学会事務局まで申込んで下さい。

特 別 講 演 (13.50～15.10)

健康・体力診断の諸問題

日本女子大学教授 船 川 幡 夫

シンポジウム (15.20～17.30)

学校における健康・体力づくり

助 言 者 船 川 幡 夫

1. 教育としての健康・体力づくり

寝屋川市楠根小学校長 桜井米次郎

2. 生活行動と健康・体力

京都教育大学 蜂須賀弘久

3. 保健室からみた健康・体力づくり

京都府乙訓中学校養護教諭 増田美美子

4. 本校における健康・体力づくり

京都市聚楽小学校保健主事 八幡忠良

5. 弱い子供の健康・体力づくり

大阪府立成人病センター 北田育男

学会に参加される方へ

- ① 学会には学校保健に関心のある方は誰でも参加できます。学会当日、会場入口の受付に申込んで下さい。第23回学会は「健康・体力」を主テーマとしていますので、学校体育関係者の参加も歓迎いたします。
- ② シンポジウムの演者に対する質疑や御意見は、予じめ講演抄録集を熟読の上、要点を簡略に明記して総会終了時までA会場入口受付まで提出して下さい。司会者がとりまとめ、演者の追加講演に含めて応答していただきます。その後時間の許す限り討論に移ります。